



消防団たずね歩き

災害からわが町を守る訓練に参加して

●わが町道場町

道場町は、六甲山の北部に位置し、今も緑豊かな田園風景が広がる所で、三田と有馬を結ぶ交通の要衝として、古くから栄えてきた歴史ある地域です。昭和26年に神戸市兵庫区に編入、48年には北区に分区され、現在の神戸市北区道場町となりました。

町内には、有馬川・有野川が流れ武庫川に合流しています。また、JR道場駅、神鉄道場駅・道場南口駅があり、神戸・大阪方面への通学・通勤に多く利用されています。

神戸市民の水がめである千苅水源地、鎌倉峡や百丈岩のハイキングコース等の観光資源も多く、自然や伝統ある歴史を生かした町づくりが進められています。

私たち道場支団は、火災・水災・その他の災害から、この大切な道場町を守ろうと頑張っております。

●北区総合防災訓練

平成26年11月16日、道場小学校をメイン会場として、参加20団体により北区総合防災訓練が開催されました。

訓練の想定は、「2日前からの大雨により、神戸市に大雨洪水警報、土砂災害警戒情報が発表され、避難準備情報発令。建物への浸水、道路の陥没、倒木による不通

箇所が発生している」というものでした。

道場支団は、この訓練で、積載車による各地域での警戒パトロール及び体育館前にて浸水対応訓練としての土嚢積み3段工法を実施。次に倒木除去訓練、家屋倒壊救出、瓦礫の除去作業を実施しました。

訓練の最後にはヘリコプターによる要救助者の搬送があり、団員は見学者の安全管理及び誘導等をおこないました。

道場幼稚園の園庭上空にて、ヘリコプターから隊員が降下し要救助者をホイストで吊り上げ収容するという訓練で、あまり見ることのできない訓練ですので、見学者は音と風圧に目を細めながら見守っていた。

最後に、今回の北区総合防災訓練をはじめ、訓練を重ねることによって、災害から住民とわが町を守ることができるということを再認識することができました。

(道場支団 副支団長 仲井博司)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

